

番号	課名	グループ名
E - 1	市民生活推進課	総務調整

事務事業名		吉四六まつり補助事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-9-17	観光資源の活用・創出による地域活性化							
	関連施策名 (施策コード)	V-15-34	市民の文化・芸術活動の活性化及び伝承							
基本項目	事業内容 (経緯)	4月6日に近い日曜日に開催する吉四六まつりに対する補助金。地元の伝統芸能継承を目的のひとつとし、寸劇や神楽、獅子舞などがステージで披露されます。野津町商工会を中心とした実行委員会が主催する地域住民主導によるイベントです。								
	行動指 標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	地元伝統芸能の演目	全演目に対する伝統芸能の演目の割合	%	53	40	53	53	50
		②	市職員の動員数	当日の職員動員数	人	21	21	21	21	20
	③									
	④									
事業対象	来場者数	成果	地域の活性化や伝統芸能の継承及び発展が図られています。また、桜の時期に開催することで、花見の名所として吉四六ランドの周知効果もあります。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	来場者数	吉四六まつりイベント来場者数	人	15,000	12,000	10,000	12,000	17,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	4,544						4,544

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		地域を代表する春の一大イベントとして定着しています。地元の伝統芸能を積極的に取り入れ、地域文化の掘り起しや地域活性化に繋がっています。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		野津町商工会を中心とした実行委員会が主催し、地元の産品や地元団体の出店もあり、地域によるイベントとなっています。また、地域に残る伝統芸能の発表の場となることで、その継承に寄与しています。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		実行委員会による自主的な取り組みが進められていますが、市職員の当日の動員等直接的な協力も継続しているため、今後も内容等吟味し必要最小限の協力とします。	
	B	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	屋外イベントであるため、天候によって内容・来場者数が大きく影響を受け、また、会場となる吉四六ランドの運動施設にも影響を与えています。協賛金の増加はなかなか見込めない中で、地域に愛される一大イベントとして、継続的に実施するために、内容や費用について検討が必要です。			
前年度の改善案	年々協賛金額が減少するなか、地域を代表する「吉四六まつり」の事業規模を縮小することないよう、内容や経費に関し見直しや工夫を図るよう努めます。今回は雨天時の開催となり、雨天時の対応や実施後の会場の課題があったため、その改善を図ります。また、引き続き市職員の動員要請数は必要最小限とし、実行委員会の効率的な組織体制による積極的な行動を図るよう努めます。			
具体的な改善案	事業経費の増額が見込めない中、事業規模を縮小することなく、継続的に実施できるよう内容や経費の見直しや工夫を図るよう努めます。会場への影響を考慮しつつ、吉四六ランドの桜をまつりに活かすことができるよう、ステージの場所変更を検討しました。また、実行委員会の主体的な取り組みを維持するため、市職員の動員は必要最小限とします。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	地域に定着したイベントのため、現状維持で継続します。本年度、吉四六ランドの運動施設への損傷を避けるため、ステージの移転を協議しました。来年度、実施後の反省点等について検討していきます。
------	---------------	----	--

番号	課名	グループ名
E - 2	市民生活推進課	総務調整

事務事業名	田園都市空間開発事業（ニュータウン小郡の丘住宅団地）						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VI-18-43	快適な住環境の確保							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	市外への人口流出の抑制・市外からの人口流入を図る過疎対策として、55区画の住宅団地を造成し、団地の土地貸付及び分譲販売を行うことにより、定住を促進し地域の活性化を図ります。平成28年度までの契約済み区画（52区画）								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	定住人口	小郡の丘の住人	人	136	138	152	164	220
		②	団地契約数	契約件数（55区画のうち）	件	45	48	50	52	55
	③									
	④									
事業対象	臼杵市定住希望者	成果	今年度、新規契約が2件。年々区画の契約が増えており、定住人口の増加と地域の活性化に繋がっています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	H31年度計画値に対する定住人口増加比率	各年度の定住人口数÷220人	%	62	63	69	73	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト（千円）	内訳	国庫補助金（千円）	県補助金（千円）	市債（千円）	使用料・手数料・その他（千円）	一般財源（千円）
	2,455						2,455

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		宅地購入希望者のみのニーズとなりますが、地域活性化・定住促進が図られ、市内の人口流出抑制・市外からの人口流入が見込まれます。
		A	A：適応している B：一部適応していない C：適応していない	
有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		自然を活かした団地で景観が良く、低価格での分譲が可能となっています。しかし、3つの未契約区画については、総面積のうち、法面の割合が高く、分譲に至るまでが困難となっています。	
	B	A：期待したとおりの効果がある B：期待したほどの効果が見られない C：効果が少ない		
効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか		市が販売している住宅団地ということもあり、維持・管理について、行政が負担する部分が大きかった。近年、地区（自治会）が主体となって運営していく意識が芽生えており、施設内にかかる費用や負担が軽減されています。	
	B	A：効率的に効果が出ている B：改善の余地がややある C：効率的に効果が出ない		

事業の問題・課題	未契約区画（3区画）は、区画内に法面を多く含んでおり、その区画に対する分譲方法が課題となっています。
前年度の改善案	引き続き法面の多い残区画について、居住者の住みやすさを考慮し周辺を整備すること、場合によっては、法面の面積や割合に応じて、購入金額の見直しが必要となってくるのではないかと考えています。分譲に対する支援策を検討します。
具体的な改善案	引き続き、法面の多い残区画について、居住者の住みやすさを考慮し、周辺を整備する。また、法面の面積や割合に応じての購入金額の見直しについては、今年度、同じように法面の多い区画の新規契約があったことを踏まえ、軽減措置の条件を1ターンのみに絞る等、すでに契約済の方に対し、不満を抱かせることのないよう慎重に検討していきます。

課長評価	現状のまま継続する（継続）	理由	平成28年度は2区画が契約でき、残り3区画についても問い合わせがあります。今後も継続して広報活動を進めていくとともに未契約区画については、分譲方法などを検討し、契約に繋げていきます。
------	---------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 3	市民生活推進課	総務調整

事務事業名		農村民泊（グリーンツーリズム）事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅱ-5-11	地域内交流・地域間連携							
	関連施策名 (施策コード)	Ⅳ-9-17	観光資源の活用・創出による地域活性化							
基本項目	事業内容 (経緯)	グリーンツーリズムは、農村民泊を通して自然と文化、人々との交流をありのままの姿で楽しむ余暇形態。行政は、後方支援として、学校関係受入時の事前やり取りや引率者対応のほか、農泊体験の誘致等PR活動を行っています。市内小学校の農泊体験、APUと連携した留学生受入れ等の事前準備や、当日対応を行いました。また新たな農泊客層として、移住希望者の農泊体験や農泊を活用した企業研修モニターツアーの参加者募集及び当日対応等の支援を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	誘致等PR活動実施団体数	誘致PR実施済数 (学校+旅行社)	団体	3	6	9	5	15
		②	受入家庭増に向けた誘致活動による受入家庭登録軒数	農泊許可取得受入家庭数(吉四六さん村GT+臼杵市GT)	軒	44	45	53	56	61
	③									
	④									
	事業対象	農村家庭、来訪者	成果	移住希望者モニターツアーがきっかけで移住した家族が2軒、農泊活動に共感し農泊家庭の登録を行ないました。また外国人受入れ時に市内買い物体験等取り入れることで、市民に農泊活動のPRができました。						
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
	グリーンツーリズム延べ来訪者数	宿泊+日帰り来訪者	人	1,206	1,730	1,943	984	2,100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	5,576						5,576

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	高齢化や後継者不足等により農業経営が厳しさをます昨今では、農村自体の活力が失われる恐れがあります。グリーンツーリズム事業は、農業の価値を高め、関わる人を元気にしていくことで、農村の活性化につながると考えられます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	農業基盤を持たない農家や農作業がままならなくなった農家の人もGT事業では、息の長い生業になり、生きがいにもつながっています。また、近年の子どもの自然体験の不足、異世代との交流の不足など、生きる力を育む教育的な効果もあると言われています。
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	高齢化の進む農泊家庭の負担を減少するため、地域実践者を活用した体験メニューを確立するため、うすきツーリズム活性化協議会に補助金を支出しているが、事務局員1名では業務量が多いため、更なる人材の活用が必要です。	
事業の問題・課題	熊本大分地震の影響で、教育旅行及び外国人受入れ数が大幅に減少しました。今後は風評被害の少ない大人向けの滞在プラン等を確立していき、また新規の農泊家庭も増やしながら高齢化の進む農泊家庭に過重な負担をかけないよう配慮する必要があります。			
前年度の改善案	農泊家庭の負担軽減及び大人(一般人、外国人、企業研修含)仕様の受入体制を確立するために、受入家庭の意識改革や農泊団体以外での地域体験のメニュー開発等を行います。またうすきツーリズム活性化協議会事務局人材を活用し、臼杵全体での着地型観光の1つとして農泊を位置づけ、魅力ある滞在プランを商品化し、教育旅行以外での受入数増を目指します。			
具体的な改善案	農泊家庭の負担軽減及び大人(一般人、外国人、企業研修含)仕様の受入体制を確立するために、引き続き受入家庭の意識改革や農泊団体以外での地域体験のメニュー開発等を行います。また臼杵市全体での滞在プランの商品化による着地型観光を推進するため、来年度から導入する地域おこし協力隊を有効に活用していきます。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	一般人、インバウンド等の受入体制を確立するため、引き続き活性化協議会事務局人材を活用し、地域体験メニューの開発等を行います。今後、臼杵全体での着地型観光に結び付くよう、魅力ある滞在プランを具体的に商品化する必要があります。
------	------------------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 4	市民生活推進課	総務調整グループ

事務事業名		二孝女物語継承事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-9-18	歴史・文化遺産の活用による観光産業の発展							
	関連施策名 (施策コード)	V-15-35	歴史・文化遺産の保存、継承							
基本項目	事業内容 (経緯)	<p>二孝女物語を後世に伝えていく継承事業です。二孝女ゆかりの都市である常陸太田市と平成27年10月、姉妹都市提携の締結を行いました。</p> <p>二孝女物語の継承事業として各地域で野津町出身の講師 一龍斎貞弥さんによる口演会を実施しました。</p> <p>本年度、二孝女物語に馴染みの薄い臼杵地域を中心に以下の5ヶ所「下ノ江ふれあい学園、豊洋中学校(下ノ江小、佐志生小)、三重野地区老人会、市浜地域振興協議会、上浦深江地区福祉推進協議会」で行いました。</p>								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	口演会の開催回数	一龍斎貞弥さんの口演回数	回	-	3	3	5	6
		②								
③										
④										
事業対象	来場者	成果	一龍斎貞弥さんの新作講談「二孝女物語」の口演会を実施することで二孝女の親子愛や人を思いやる心を市内に広めることができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	来場者数	口演会来場者数	人	-	615	311	248	300		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	1,898						1,898

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	二孝女の話を知っていただくことにより、忘れかけている日本人の心を継承することができます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	講談「二孝女物語」を野津町出身の一龍斎貞弥さんに口演頂くことで実話である二孝女物語が広く知られるようになりました。講談を通じて二孝女の親子愛や人を思いやる心の継承を全国に発信しています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	両市の二孝女顕彰会が市民交流事業に取組み、茨城県では高校の道徳の教科書に採用され、大分県では本年度から道徳の教材として採用されます。今後、そのような教材等の活用法も含め情報発信していく必要があります。
事業の問題・課題	二孝女物語を多くの方に知っていただくため地域に出向き口演会を実施しているが20歳代~50歳代の方の参加が少ないように思えます。今後、市民全体に幅広く認知していただくよう口演会の方法を検討する必要があります。			
前年度の改善案	市民交流のあり方については、両市で検討します。また、地域振興協議会の担当課等と連携し、「二孝女物語」の講談口演会を地域振興協議会単位で開催することで市内に二孝女の物語を継承することができます。また、二孝女のチラシの配布等を通して、より多くの方々に二孝女をPRしていきます。			
具体的な改善案	民間レベルの交流会は、少人数で毎年実施することを臼杵市二孝女顕彰会と確認しています。また、両市の行政レベルの交流会は3~5年周期で実施する方向で検討しています。口演会については、地域振興協議会の担当課等と連携し、「二孝女物語」の講談口演会を実施していきます。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	両市民の交流がきっかけで、姉妹都市提携が実現しました。今後も引き続き、現在の日本に必要な「人を思いやる気持ち」や「人をもてなす心」を全国に広めていく必要があります。
------	------------------------	----	--

番号	課名	グループ名
E - 5	市民生活推進課	総務調整グループ

事務事業名		吉四六の館解体工事						新規・継続	新規	
		ソフト・ハード		ハード						
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VI-18-41	まちづくりの計画的推進							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	老朽化し危険性の高い吉四六の館を解体しました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	施設解体	解体数	件	-	-	-	1	-
		②								
		③								
④										
事業対象	施設解体	成果	老朽化した吉四六の館を解体し、跡地を駐車場として利用できるようにアスファルト舗装を行いました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	駐車場面積	解体後整備した駐車場の面積	m ²	-	-	-	1,524	-		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	17,383				15,400		1,983

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			老朽化した施設は、雨漏り等による漏電などの危険性があるため解体工事を行いました。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			老朽化した施設を解体し、跡地をアスファルト舗装したことで普現寺のみじ紅葉時に大型観光バス等の駐車場として跡地を有効利用できました。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない			
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			現在、跡地は駐車場として有効利用していますが、今後、周辺、周辺施設等全体を含めた総合的な活用を考える必要があります。	
	B	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題					
前年度の改善案	-				
具体的な改善案	-				

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定(完了)	理由	老朽化し危険性の高い施設を解体することで、施設にかかる維持管理費が削減でき、跡地を駐車場として有効活用できました。
------	----------------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 6	市民生活推進課	市民生活

事務事業名	葬斎場運営（委託）業務						新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VI-18-43	快適な住環境の確保							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	野津地域（旧野津町）の葬斎場については、旧大野郡5ヶ町村（旧三重町、旧野津町、旧犬飼町、旧清川村、旧千歳村）で運営する葬斎場（平成27年2月新葬斎場完成）を利用しています。旧大野郡は、合併して豊後大野市になったため、豊後大野市に葬斎場（豊後大野市三重葬斎場）の運営事務を委託しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	葬斎場の使用回数	使用回数	回	116	105	131	135	150
		②	運営費総額	運営委託費総額	千円	2,570	3,847	3,391	3,546	3,450
	③									
④										
事業対象	市民	成果	火葬炉の増設により、圏域外（臼津葬斎場等）で火葬することがなくなりました。また、火葬予約システム導入等で利用者の利便性は向上しています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	1回あたりの費用	委託費用÷使用回数	千円/回	22	37	26	26	23		

コスト 事業費+人件費	フルコスト（千円）	内訳	国庫補助金（千円）	県補助金（千円）	市債（千円）	使用料・手数料・その他（千円）	一般財源（千円）
	3,604					1,376	2,228

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		人が亡くなった場合、埋火葬は必ず行わなければいけない事なので、今後も必要性は高いと思われます。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		高齢化が進み、高齢者が多くなっていることから、今後、葬斎場の利用回数は増加すると思われます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか		新葬斎場の完成により、火葬炉の数が増えたので、圏域外（臼津葬斎場等）で火葬することがなくなり、火葬料補助金の支出が減少しました。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	新葬斎場の完成により、火葬炉が増えたことにより圏域外で火葬することがなくなりました。また、火葬予約システム導入など、利用者の利便性は高まりました。ただし、高度な施設の管理委託等の維持管理費が高くなり、運営委託料が高くなっています。			
前年度の改善案	利用者への高度な利便性を図るため、専門業者に委託するようになります。そのため、臨時職員は置かなくなり人件費がなくなった反面、専門業者の委託料が大きくなっています。今後、運営委託料に係る決算状況を検証し、節約できる費用などについて豊後大野市と協議していく必要があります。			
具体的な改善案	前年度の決算状況及び利用件数により毎年委託事業費が決定しますが、今後も決算状況の内容を豊後大野市から説明を受けて、委託業務の中で削減できる費用等について協議をしていく必要があります。			

課長評価	現状のまま継続する（継続）	理由	豊後大野市（新）三重葬斎場は、平成27年3月から稼動するようになりました。引き続き、運転管理業務などについて効率的に運営されているか動向を注視していく必要があります。
------	---------------	----	---

番号	課名	グループ名
E - 7	市民生活推進課	総務調整

事務事業名		吉四六の里観光協会補助事業						新規・継続	継続	
						ソフト・ハード		ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-9-17	観光資源の活用・創出による地域活性化							
	関連施策名 (施策コード)	V-15-34	市民の文化・芸術活動の活性化及び伝承							
基本項目	事業内容 (経緯)	吉四六の里観光協会が事業主体となり、野津地域の観光資源を開発し、観光事業及び産業の振興を行い、地域の活性化を図ります。(主催事業：吉四六ランド桜のライトアップ、普現寺もみじライトアップ、吉四六さん着ぐるみ貸出等)								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
					H25	H26	H27			
		①	イベントへの協力回数	主催及び後援回数	回	24	27	27	28	30
		②	市内外へのPR回数	吉四六さん着ぐるみ貸出回数	件	23	26	17	18	30
③	ライトアップイベントの開催数	回数		2	2	2	2	2		
④										
事業対象	来場者	成果	桜のライトアップでは、桜の開花状況にあわせて期間を延長し実施しました。今後も事業経費を考慮した上で、事業内容や事業周知方法などを見直します。また、事業を持続させるための収益を産み出す工夫の検討も行います。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値		
				H25	H26	H27				
	来場者数	ライトアップイベント 来場者数	人	2,600	2,800	2,600	2,700	3,500		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	1,795						1,795

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		吉四六さんの里、桜や紅葉の名所として野津地域の知名度も定着しており、商店街を含む野津地域の活性化を促進するため、観光協会の行うイベント事業は必要だと考えます。
		A	A：適応している B：一部適応していない C：適応していない	
有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		ライトアップイベントなど毎年同程度の来場者で推移し、野津地域のPRにつながっています。しかしながら、継続して事業実施するためには、収益を得る仕組み作りが必要だと考えます。	
	B	A：期待したとおりの効果がある B：期待したほどの効果が見られない C：効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		野津地域に特化したイベントや観光地を掲載したパンフレットがないことや観光ガイドがないことなど、野津地域のPRや観光客を受け入れるために取り組むべき課題があります。	
	B	A：効率的に効果が出ている B：改善の余地がややある C：効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	事務局を市に置いてあり行政主導の感があること、また協会会員の年齢層が高いことなどから、会員の積極的な行動・協力がなかなか得られない状況です。知名度が向上しているなか、貴重な観光素材を観光客にPRする方法に乏しく、また、地域の活性化に結び付けることが難しい状況にあり課題となっています。			
前年度の改善案	農業後継者や商工会青年部など若く行動力のある団体、朝市の参加団体に対し、さらに観光協会への加入を促し、それらの連携を図り、各種イベントの際に各分野で取り組めるよう努めます。平成27年度に吉四六ランドに吉四六さんの家とふれあい広場新遊具が整備されましたので、今後はそれらの利活用も含めPRに努めます。			
具体的な改善案	地元の特性を活かして野津地域の活性化を図るため、より多くの団体への協会加入を促し、協会内での連携を深め、貴重な観光素材を活かすことができるよう各種イベントなどに取り組みます。まずは、吉四六さんの家が野津地域の観光情報の発信地となるよう努めます。また、運営主体である「NSKおへまハウス」による野津の観光情報の発信のあり方を検討します。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	野津地域には「吉四六さん」をはじめとする多くの地域資源やイベントなどに積極的に参加する民間団体などがあります。それらの資源や団体を繋ぐ中心的な役割を吉四六の里観光協会が担う必要があります。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(平成 28 年度)

番号	課名	グループ名
E - 8	市民生活推進課	総務調整グループ

事務事業名		野津庁舎整備基本構想策定事業（新規）						新規・継続 ソフト・ハード	新規 ハード
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VI-18-41 まちづくりの計画的推進							
	関連施策名 (施策コード)								
基本項目	事業内容 (経緯)	<p>老朽化し危険性の高い野津庁舎旧旧館を取り壊し、新館を中心にコンパクトに整備するにあたり、野津庁舎のあり方、庁舎リニューアルの基本的な考え方、庁舎内の配置機能など、設計の前提条件等を整理し基本構想としてまとめます。市民意向調査を実施したため、年度内に終了できず平成29年度に事業繰越しました。</p>							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値
					H25	H26	H27		
		① 委託先との打合せ回数	打合せ回数	回	-	-	-	5	-
		② かたろう会（野津まちづくり推進協議会）の開催回数	開催回数	回	1	1	2	4	-
	③								
	④								
事業対象	基本構想策定	成果	市民の意見を取り入れるために、市民意向調査を実施しました。そのため、平成29年6月末に委託期限を延長しました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28 実績値	H31 計画値	
				H25	H26	H27			
	市民意向調査の回答率	回答数／発送数	%	-	-	-	52.5%	-	

コスト 事業費+人件費	フルコスト（千円）	内訳	国庫補助金（千円）	県補助金（千円）	市債（千円）	使用料・手数料・その他（千円）	一般財源（千円）
	1,160						1,160

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		基本構想の策定に際し、市民意向調査等を行い市民の意見をその後の設計等に結びつけていくことや、市の整備に対する考え方を市民に知っていただけます。
		A	A：適応している B：一部適応していない C：適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		短期間の中で、市民の意見、行政内部の意見など、市の整備に対する考え方をまとめることができます。
A		A：期待したとおりの効果がある B：期待したほどの効果が見られない C：効果が少ない		
効率性	行政資源量（特にコスト）に対し合った効果があるか		現在、跡地は駐車場として有効利用していますが、今後、周辺、周辺施設等全体を含めた総合的な活用を考える必要があります。	
	B	A：効率的に効果が出ている B：改善の余地がややある C：効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	市民意向調査の時期について、実施時期が下がってしまったことで、当初年度内終了の見込みの作成委託が事業繰越しとなってしまいました。このため、29年度に予定していたその後の計画策定等の進め方に影響が出ることが考えられます。			
前年度の改善案	-			
具体的な改善案	-			

課長評価	現状のまま継続する（継続）	理由	この事業は平成29年度に繰越しており、平成29年6月末に完了する予定である。
------	---------------	----	--